

2023年2月20日(月)
第3回こども政策強化に関する関係府省会議



すべての家庭へ届く子ども・子育て支援

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
認定NPO法人ビーのびーの
理事長 奥山千鶴子

本日本話したいポイント①

本気で、子どもや子育て家庭に対して、
社会的に**機能補完**する体制をつくる

1. ポピュレーションアプローチ(誰でも)

2. 選択できる・選択に寄り添う

3. 子どもと子育て家庭のウェルビーイング

4. 子どもと子育て家庭に関わる人を増やす

本日本話したいポイント②

本気で、子どもや子育て家庭に対して、
社会的に**機能補完**する体制をつくる

1. 出産前後の学びや交流の場、支援サービスを多様に用意(専門職+地域人材)
2. 0歳から就園前の家庭への支援強化
3. ウェルビーイングを高める寄り添い型支援の構築
4. 中高生、若者による保育・子育て体験の促進
5. 子どもの成育環境・子育て世代の住居支援

1. 出産前後の学びや交流の場、支援サービスを多様に用意(専門職+地域人材)

妊娠期から専門職+地域人材の訪問によるサポートを受けられる体制をつくる

短期的

- 産後ケア事業（専門職によるケア）は、訪問型支援を強化
- すべての希望する家庭に、産前・産後ヘルパー派遣ができるよう国庫補助事業とし事業者登録、研修体制を確立する。
現状では、市町村独自事業として、63.5%の市町村で、ヘルパーを派遣する制度が存在していない。（2020年三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査）
- バラバラな家庭訪問事業の整理と人材育成

中期的

- 産後ケア事業（ショートステイ、デイケア）の更なる拡充
- 出産前教室の**土日開催、オンライン開催が必須**
 - **委託を促進**
- 出産前教室の受講の奨励とプログラムの見直し
出産する産院は立ち合い出産に向けた内容が多い、
オンラインによる全国規模のものは地域情報が得られにくい、
自治体のものは申し込みにくい、夫が参加しにくい等。
**家庭を築くというコペアレンティング（夫婦で子育てを
スタート、産後の生活、育児方針、赤ちゃんへのかかわり
と影響、仕事・家事の分担、親としての立ち位置、
子どもの成長・発達、チームとしての支え合い等）の視点**
 - **プログラム内容を見直し、専門職に加えて、居住地域の
地域子育て支援団体との連携**

4か月児健診の親の声

横浜市港北区との協働調査(2020年)

母子手帳交付の際、もらう**情報が多すぎてわかりづらい**。

保育所見学が止められていて、**情報が入手できない**。

両親教室がどこも中止になる中、**オンラインでの教室に参加できて良かった**。

産後ケアの訪問型の申し込みが、**ネットで申し込めるのは良かった**。

産後ケアのデイケアを利用したがとても素晴らしいサービスでした。NICUのナースさんに聞いてこのサービスを知ったが、**もっと周知されるべきサービスだと思う**。

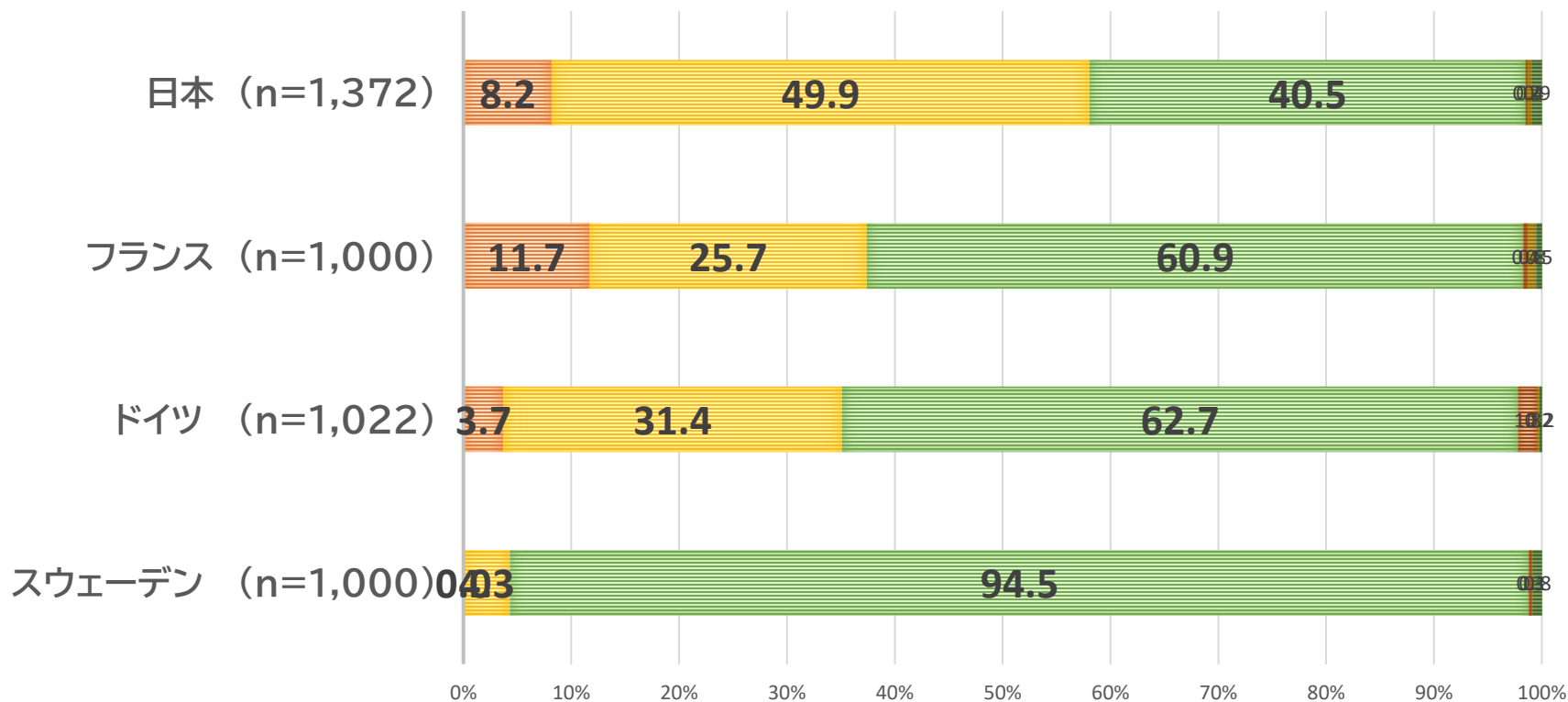
助産師さんの訪問型母子ケア事業を利用したが、産後2カ月の訪問の際にサービスの存在を知った。**生後4か月までの利用のため、もっと早く知りたかった**。

できれば産前から地域のコミュニティの様子や、**人とのつながりができれば安心だった**。

性別役割分業観 諸外国との意識の比較

「小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について」

- もっぱら妻が行う
- 主に妻が行うが、夫も手伝う
- 妻も夫も同じように行く
- 主に夫が行うが、妻も手伝う
- もっぱら夫が行う
- 無回答

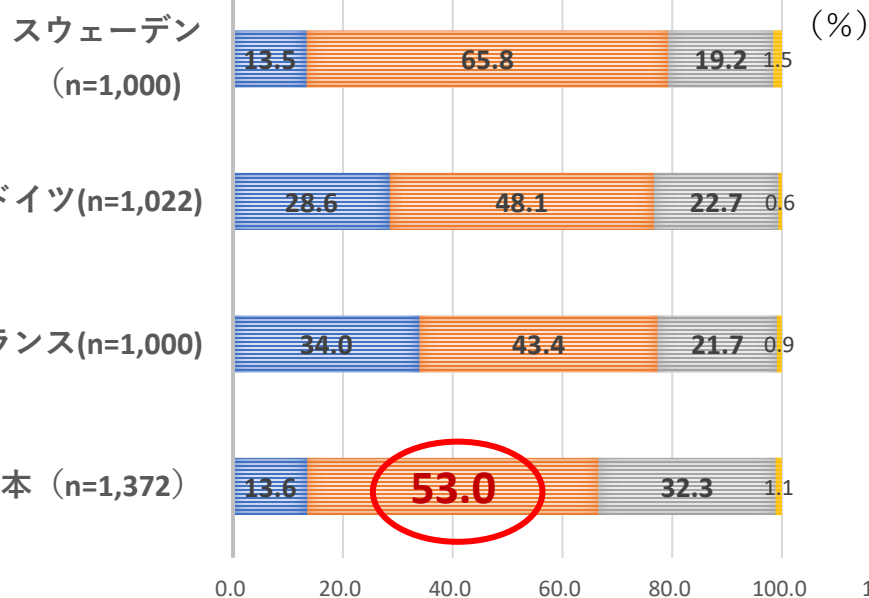


仕事と子育ての両立 理想と現実のギャップを解消する

ワーク・ライフ・バランスについては、理想と現実の間のギャップが大きい。

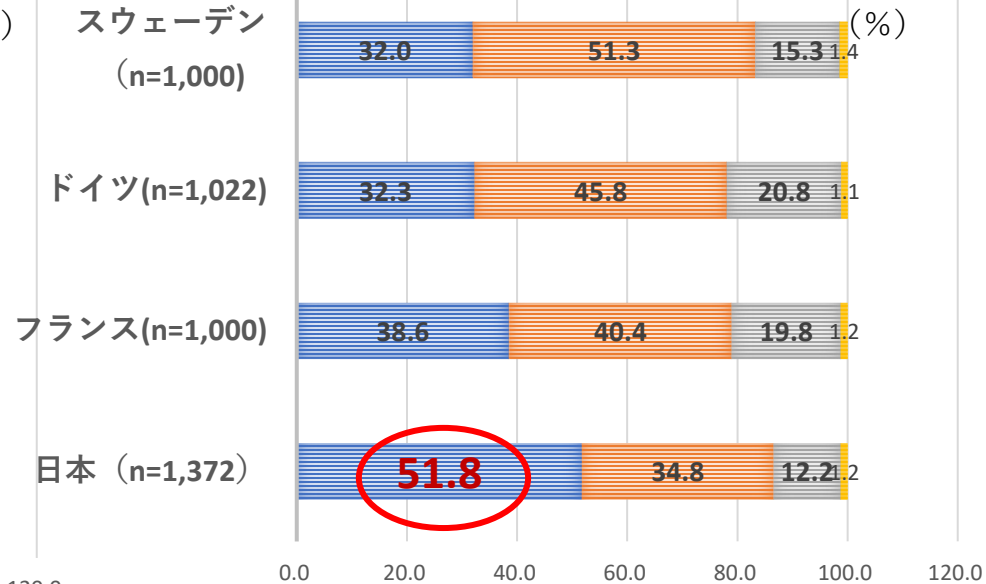
仕事と家庭生活と個人の生活の優先度についての希望（2020年）

■ 仕事を優先 ■ 家庭生活を優先
■ 個人の生活を優先 ■ 無回答



仕事と家庭生活と個人の生活の優先度についての現実（2020年）

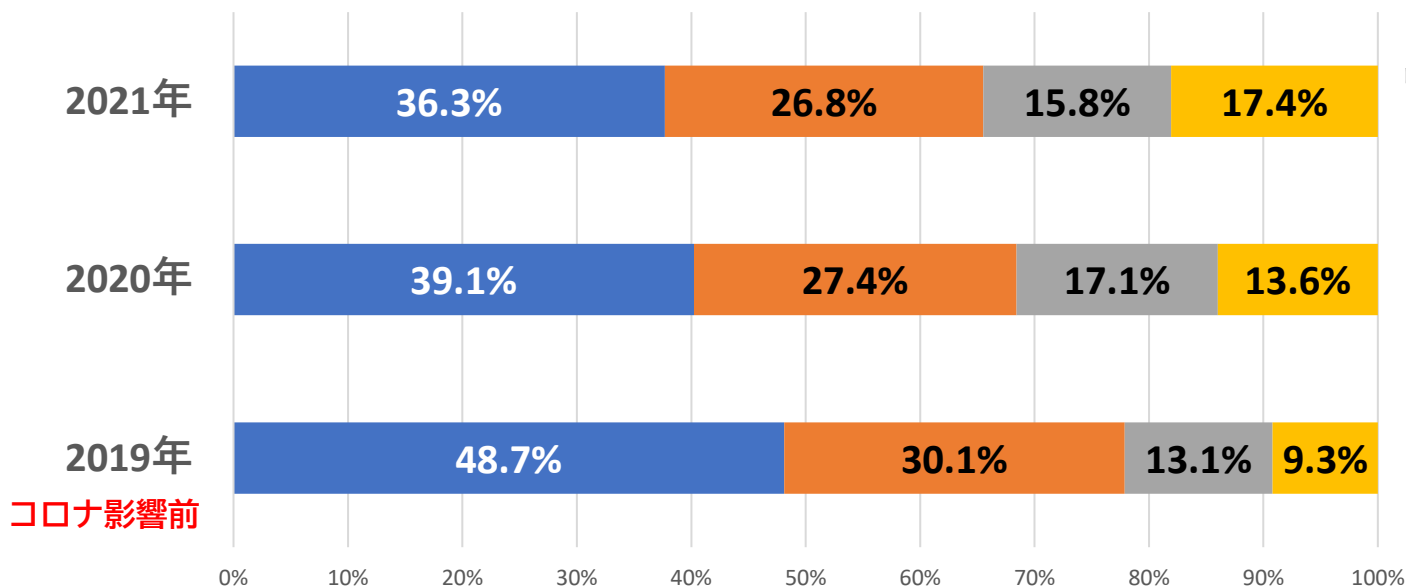
■ 仕事を優先 ■ 家庭生活を優先
■ 個人の生活を優先 ■ 無回答



コロナの影響を受ける、出産前後の子育て家庭 (横浜市港北区、里帰りの状況と手伝いの有無に関する3か年比較)

調査実施時期: 2021年10～11月 配布数:225 回収数:190 (回収率84.4%)
 2020年10～11月 配布数:400 回収数:368 (回収率92%)
 2019年5～6月 配布数:400 回収数:236 (回収率59.0%)

港北区地域子育て支援拠点どろっぴと港北区役所が協働で実施



コロナ影響前

出身地：(2021年)
 ・母親が横浜市外 (アウェイ育児) 65.3%
 ・父親が横浜市外 72.1%



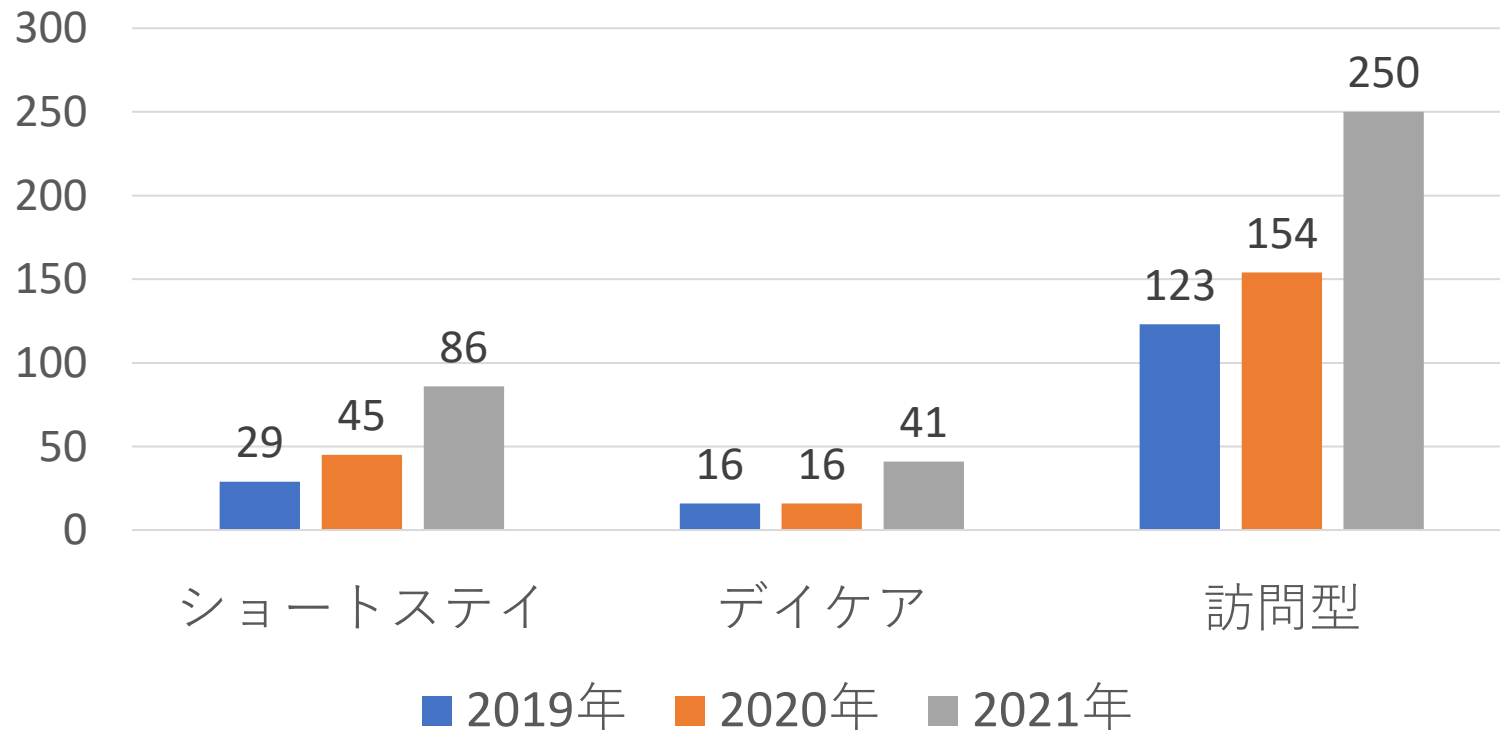
©港北区ミズキー

- 里帰り出産
- 里帰りなし・手伝いあり (一定期間)
- 里帰りなし・手伝いあり (必要な時)
- 里帰りなし・夫婦のみ



産後ケア事業の利用状況の推移 (横浜市港北区、3か年比較)

産後ケア事業実施状況（利用者数）



* 港北区は、ショートステイ、デイケアは他区の施設を利用

(参考)横浜市産前産後ヘルパー派遣事業

■派遣対象：

(1)妊娠中で、心身の不調等により子どもの養育に支障があり、かつ、日中家事又は育児を行う者が他にいないため、支援が必要な世帯。

(2)出産後5カ月（多胎児の場合は出産後1年）未満で、日中家事又は育児を行う者が他にいないため、支援が必要な世帯。

■支援内容：

横浜市と契約した産前産後ヘルパー派遣事業者からヘルパーを派遣し、家事及び育児を支援。

■利用時間及び回数等：

月曜日から金曜日（年末年始・祝日は除く）の9時から17時まで、1回2時間、1日2回まで。産前・産後各20回以内（多胎児出産の場合は、産後40回以内）。利用者の自宅での利用。利用者の外出に付き添うことは可能。

■利用料：

1回（2時間以内）あたり1500円。生活保護世帯、住民税非課税世帯等で利用料減免あり。

全国的には、3割程度の自治体のみが実施。ニーズは極めて高い。

(参考)多様な子育て家庭にかかわる訪問事業

取組は、自治体によってバラバラ。研修制度が確立されていない

事業	名称	対象家庭	補助
子育て世帯訪問支援事業 (令和4年度予算要求新規事業)	育児支援ヘルパー	ヤングケアラー等、育児に不安を抱える家庭	国庫補助
養育支援訪問事業 (地域子ども・子育て支援事業)	育児・家事ヘルパー	養育支援(家事・育児支援)が必要と判断された家庭	国庫補助
ひとり親家庭日常生活支援事業	家庭生活支援員(ヘルパー)	ひとり親家庭 (未就学児、小学生)	国庫補助
多胎妊産婦サポーター等事業	多胎妊産婦サポーター	多胎妊婦、多胎家庭	国庫補助
産前産後ヘルパー派遣事業 (家事育児支援ヘルパー派遣)	産前産後ヘルパー 家事育児支援ヘルパー	支援が必要な家庭 産前・産後は4~5カ月までが多い	国庫補助なし。

2. 0歳から就園前の家庭への支援強化

短期的

**未就園で育児休業手当を受けていない家庭が、4割以上。
支援が手薄な0歳から就園前の家庭支援を強化する。**

- 利用者支援事業基本型の拡充（個別支援と地域連携）
 - *利用者に寄り添った相談・情報提供・利用支援、地域連携・開発等
- 身近な地域子育て相談機関の整備（令和6年度～）
- 未就園児家庭の定期的な保育の促進（週1日でも）
- 一時預かり事業の拡充を阻害する要因の分析と解消（事務負担、施設整備、人材、事業参入等）
- 短期的な一時預かりは、子どもの場所見知りの少ない地域子育て支援拠点等の更なる活用
- 第2子以降の子ども出産時のきょうだい児の預かり保障

中期的

- 地域子育て支援拠点事業や保育所等の多機能化
交流の場・相談・情報提供・講座・利用者支援事業基本型・
一時預かり事業・訪問事業・産前産後サポート事業・
ファミリー・サポート・センター事業等
- 地域子育て支援拠点事業や保育所等は、地域の方々との
交流、ボランティアの受け入れを積極的に行う。
そのための地域連携スタッフを配置する。
- 1・2歳児の保育の必要性については、家庭ごとに希望が
かなえられるよう徐々に緩和。特に2歳児については、
希望すれば、年度途中でも入所できるよう推進。
- 職場復帰時の保育事前予約。

追い詰められ自信を失う



ひろば全協発行
「子育てひろば0123育ちの詩」から

24時間休みなしの育児。「この子は、自分を困らせるためにいるのでは？」こんな考えがよぎる自分に罪悪感を覚える。

知り合いもおらず、地理もわからない土地で子育てのスタートはとても辛かった。家の中で赤ちゃんを抱えひどく追い詰められていたと思う。

産休前は教師としてバリバリ働いていたのに、社会からの疎外感。息子はアトピー。それでも周囲に弱さを見せられずにいた。

息子はトラブルメーカー。「私の育て方のせいなのか」とひどく落ち込んだ。

赤ちゃんの世話の体験

4人に3人は、赤ちゃんの世話の体験がない。

Q. はじめてのお子さんが生まれる前に、赤ちゃんの世話をしたことがありましたか。

無回答

0.4%

ある

25.2%

ない

74.4%

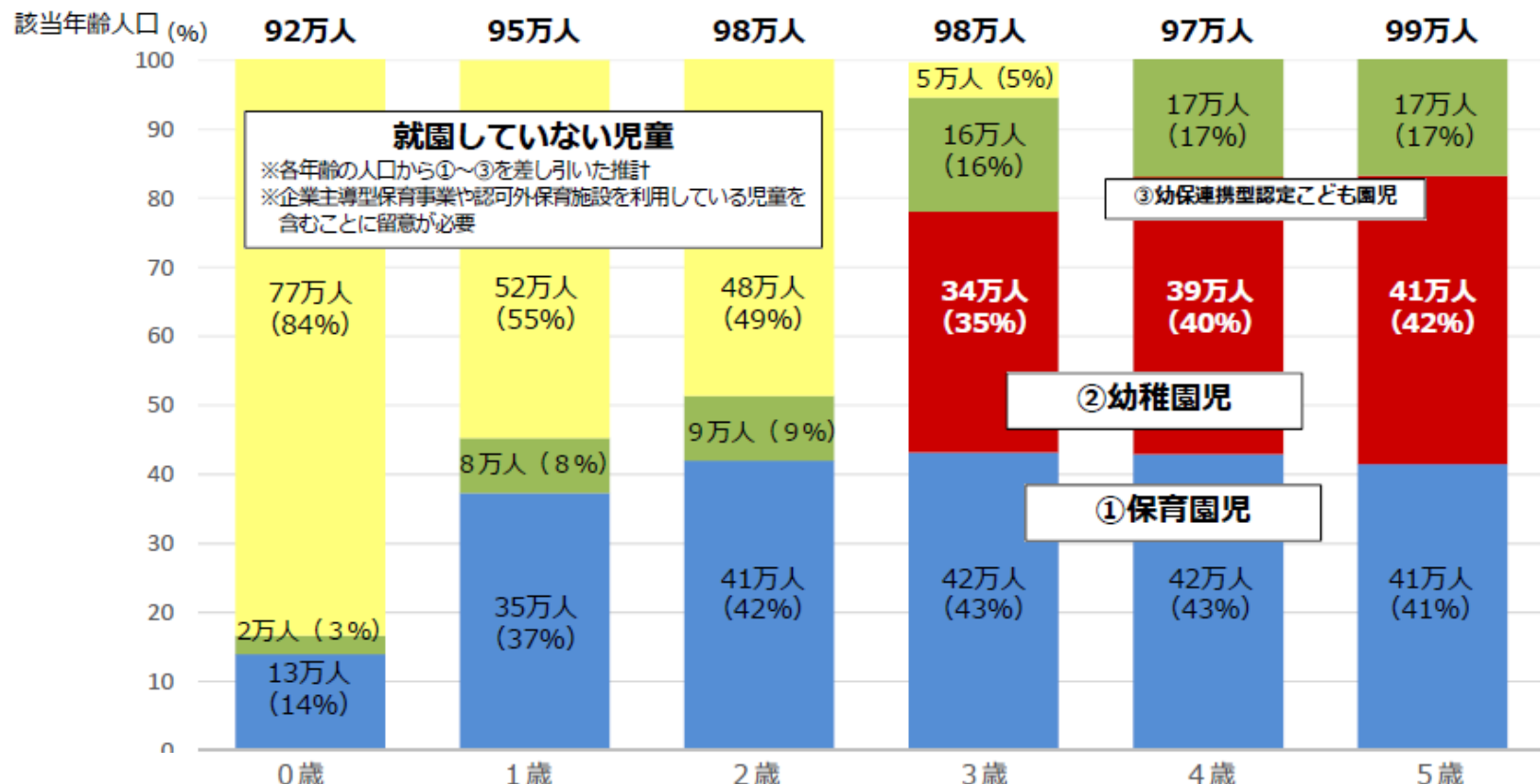
対象:未就学児保護者
平成30年 N=28,721

「横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」
(平成30年11月実施) より作成

保育園と幼稚園の年齢別利用者数及び割合

保育園・幼稚園等の年齢別利用者数及び割合(令和元年度)

令和3年4月23日
社会的養育専門委員会資料
より数値等を更新



※該当年齢人口は総務省統計局による人口推計年報(令和元年10月1日現在)より。なお、各年齢の数値は、人口推計年報における当該年齢と当該年齢より1歳上の年齢の数値を合計し、2で除して算出したもの。

※幼保連携型認定こども園の数値は令和元年度「認定こども園に関する状況調査」(平成31年4月1日現在)より。

※「幼稚園」には特別支援学校幼稚部、幼稚園型認定こども園も含む。数値は令和元年度「学校基本調査」(確定値、令和元年年5月1日現在)より。

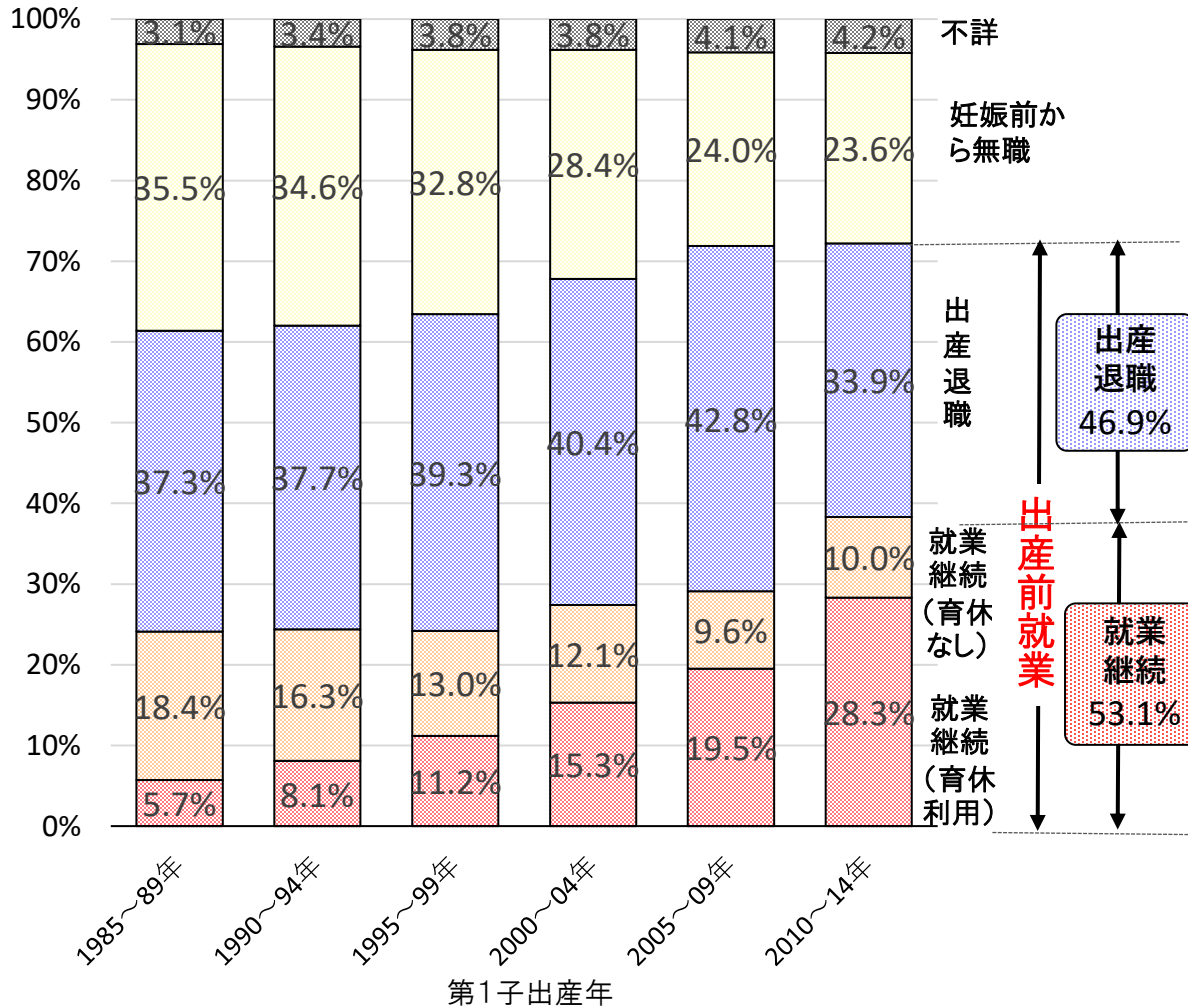
※保育園の数値は令和元年の「待機児童数調査」(平成31年4月1日現在)より。なお、「保育園」には地方数量型認定こども園、保育所型認定こども園、特定地域型保育事業も含む。4歳と5歳の数値については、「待機児童数調査」の4歳以上の数値を「社会福祉施設等調査」(平成30年10月1日現在)の年齢別の保育所、保育所型認定こども園、地域型保育事業所の利用者数比により按分したもの。

※「推計未就園児数」は、該当年齢人口から幼稚園在園者数、保育園在園者数及び、幼保連携型認定こども園在園者数を差し引いて推計したものである。このため、企業主導型保育事業や認可外保育施設を利用する児童を含む。

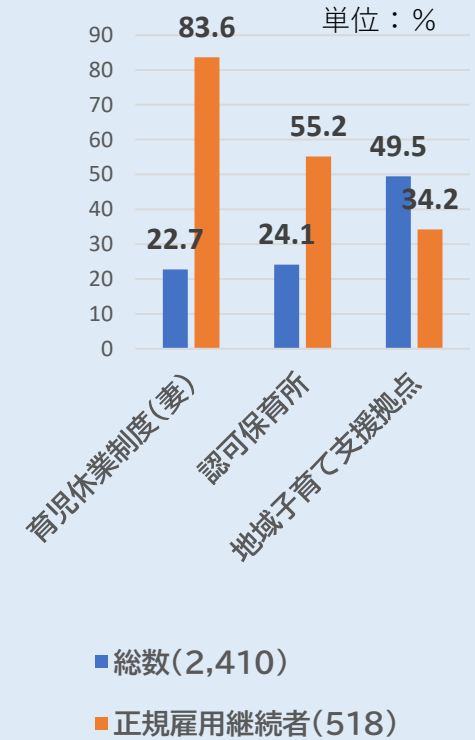
※四捨五入の関係により、合計が合わない場合がある。

女性の就業継続率は上昇したが、退職も多い

【第1子出産前後の妻の就業変化】



【第1子が3歳になるまでに利用した制度・施設】



正規雇用継続者とは、「第1子の妊娠が分かったとき」、「第1子が1歳になったとき」の2時点で正規雇用者であった者



大人の子どもへの避けたいかわりを予防するグループワークを活用したプログラム

テーマを決めたグループワーク

例:夜泣きどうしてる？

オンライン両親教室のあと、地域子育て支援拠点で沐浴体験



親同士が主体的に活動・学べる場をつくる！

- ◆親同士の主体的な学びや活動の機会がある
- ◆地域の情報にアクセスしやすい
- ◆身近な相談場所がある
- ◆社会から応援されていると実感できる
- ◆自分たちなりのライフスタイル選択ができる

3. ウェルビーイングを高める寄り添い型支援の構築

短期的

- 本年度補正予算の「**出産・子育て応援交付金**」を機能させる。
 - ・保健師だけの実施では、すべての家庭を網羅するのは厳しい。
 - ・地域子育て支援拠点、保育所等に期待されている身近な地域子育て相談機関（令和6年度～）に委託を奨励する。
特に妊娠8か月頃の2回目・主産後の3回目の面談は、地域子育て相談機関等と連携して実施する。
- 利用者支援事業基本型（個別支援・地域連携）の専門員を増やすことで、相談支援・地域の資源開発を促進させる。

中期的

- 地域人材を、子ども・子育て支援に取り入れる。
 - 研修は、子育て支援員研修を活用

出産・子育て応援交付金(伴走型相談支援と経済的支援)

妊娠期

出産

出産後

妊娠届出

届出から4週

届出から24週

出生届

- 主な手続き
 - ・妊娠届出
 - ・初回産科受診料申請（低所得者）
 - ・出産準備手当
 - ・育児準備手当申請
- 主な費用
 - ・初回産科受診料
 - ・妊婦健診費
 - ・妊婦健診に伴う交通費等
 - ・マタニティウェア・ベビー服、ベビー用品等

- 主な手続き
 - ・産前産後、育児休業の申出（勤務先）

- 主な手続き
 - ・出産育児一時金申請
 - ・出産届、健康保険加入
 - ・児童手当の申請
- 主な費用
 - ・出産費用・ベビー用品
 - ・ベビー消耗品（おむつ、ミルク）

- 主な手続き
 - ・保育所等入園手続き
 - ・職場復帰手続き（勤務先）

伴走型相談支援

面談1
(委託可)

子育て世代包括支援センター（令和6年～こども家庭センター）

経済的支援



面談2
(委託可)

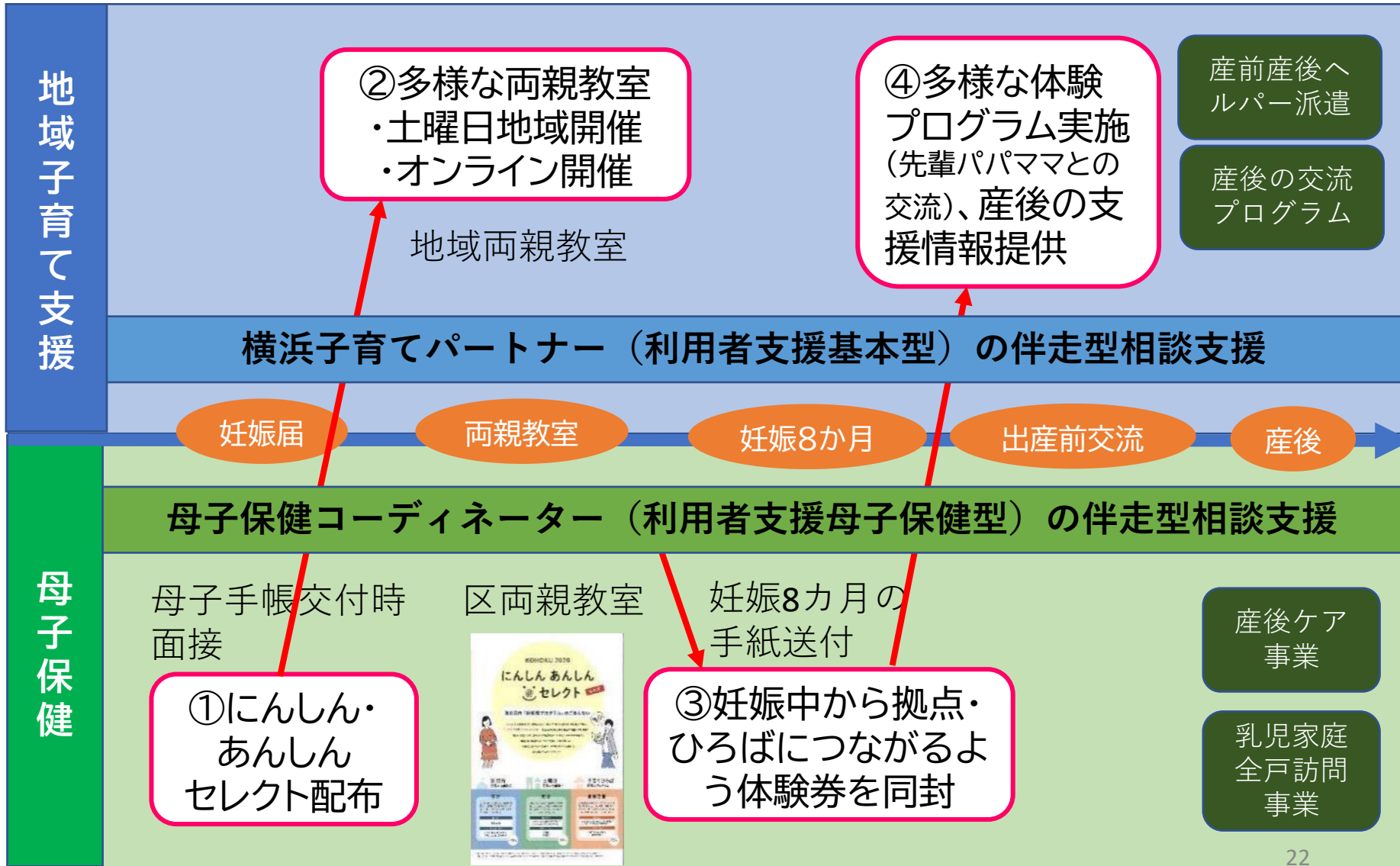


面談3
(委託可)

経済的支援

地域子育て相談機関（地域子育て支援拠点等）

(2022年度) 母子手帳交付時から、母子保健・地域子育て支援の連携支援 (港北区での取組)



妊娠期からの切れ目ないプログラムの実施

妊娠期

出産後

- ・ 両親教室
- ・ 出産準備プログラム
- ・ プチ体験
- ・ 助産師とみんなの知恵袋

- ・ ちょこっと育児体験

- ・ あんしん妊娠セレクト
- ・ 産後あんしんセレクト

- ・ あっぷっぷ
- ・ 栄養士とみんなの知恵袋
- ・ ほっぷっぷ

保育所と連携して実施

情報提供

拠点で実施
ピアサポート

拠点で実施
ピアサポート

- * 出産後のプログラムを妊娠期からご案内
- * 子育て世代包括支援センターと連携
- * 拠点事業と利用者支援事業の連携

乳幼児期の子どもたちのウェルビーイングに必要な大人のかかわりをエビデンスをもって社会に啓発する



子どもが自発的に遊び・育ち合う環境を地域につくる！

- ◆大人から受容される
- ◆子ども集団の中で、自然かつ自発的な遊び・育ち合いが保障される
- ◆応答的に関わってもらえる
- ◆親以外の大人とのかかわりが持てる
- ◆社会から祝福されていると感じられる

地域人材を子ども・子育て支援に取り入れる

- すべての世代、特にシニア世代が活躍できる機会を幼児教育・保育、地域子ども・子育て支援の場につくる。
- 全国共通のカリキュラムで実施されている「子育て支援員研修」について、受講修了者が保育・教育施設、地域子ども・子育て支援事業に就職や活動できる機会をコーディネートする。現状は、地域子ども・子育て支援事業について「子育て支援員研修」を行っていない都道府県が存在する。また受講しても必ずしも就労につながっていないケースがある。
- 高年齢者雇用安定法の活用～70歳までの就業機会の確保（努力義務）～
 - ・70歳まで継続的に以下の事業に従事できる制度の導入
 - a. 事業主が自ら実施する社会貢献事業
 - b. 事業主が委託、出資（資金提供）等する団体が行う社会貢献事業



DOORS ボランティア募集

DOORS

コミュニティに加わる

♥ どろっぴでボランティア

無償

● Sボランティア
子どもと遊ぶ・お話し相手・庭の手入れ・演奏・読み聞かせ・調理・カ仕事・DIY など、できることを自分のペースで
S=スーパー、スペシャル、すてき♡ 年齢制限なし

● 学生ボランティア
子どもとのふれあい、遊び、お世話など
大きくなった元利用者のみんなもきてください

● どろっぴ「^{もな}monaka」
● どろっぴサテライト「^{もも}MOMO」
利用者のボランティア活動グループ、定期的な会合を持ち、
ひろばに必要な環境を提案・作成や、イベントを企画・運営

● どろっぴ
どろっぴ・サテライトを利用するパパたちの集まり
ゆったりしたおしゃべりで情報交換やイベント、毎月開催

● こうほくnetほいっぴ
もっと子育てしやすくなる形を考え作っていく、
港北区の子育て当事者グループ

どろっぴ 045-540-7420
サテライト 045-633-1078
問い合わせフォーム URL



<https://business.form-mailer.jp/fms/30a04430121366>

👶 子どもを預かる

有償

● 子育てサポートシステム
習い事送迎、リフレッシュのためなどの預かり
対象：生後57日～小学校6年生
子育てサポートシステム事務局
港北区支部 045-547-6422



● 保育ボランティア「おんぱにだっこ」
どろっぴ/どろっぴサテライトで開催する講座の保育や見守り
対象：どろっぴ・サテライト利用者(未就学児)
どろっぴ 045-540-7420/サテライト 045-633-1078

● 地域訓練会保育ボランティア
障がいのある子どもの訓練会・サークルにて、
親ミーティング中の保育や、活動の準備、見守り
どろっぴ 045-540-7420/サテライト 045-633-1078

👩 産前産後の家庭をケア

有償

● 産前産後ヘルパー派遣事業
産前産後の家庭で、家事(食事の準備・片付け、洗濯、掃除、買物)・
育児(おむつ交換、沐浴介助、送迎補助)の支援
認定 NPO 法人びーのびーの
045-633-1123
helper@bi-no.org



🌐 ネットワーク

● code for kohoku
港北区オープンデータを活用した子育てプロジェクトの
活動から派生した IT ボランティアによる自主活動グループ
code for kohoku: okpyokohama2016@gmail.com

● Now+(ナウぷらす)
子育て世代のコミュニティ、今の生活(now)に少しでも
何かを+したい思いで集まった人たち
Now+事務局 nowplus.kohoku@gmail.com

● 港福一夜城
港北区にゆかりのある有志が意見交換や情報共有を実施
港福城プロジェクト TEAMSASUKE Kikaku@bi-no.org

● ラシク 045
イキイキと暮らせる都市を作る目的で元気に自由に面白く議論する
一般社団法人ラシク045 rashiku@gmail.com

💰 寄付でつながる

● 認定 NPO 法人びーのびーの
どろっぴ/どろっぴサテライト運営法人
地域とのつながりによる「みんな子育て」の
実現に向けて挑戦し続けています
045-540-7422



親子のウェルビーイングを高める社会づくり

子ども（乳幼児）

- ・ 大人から受容される
- ・ 自発的な遊び・育ち合いが保障される
- ・ 応答的に関わってもらえる
- ・ 親以外の子どもや大人とのかかわりが持てる
- ・ 社会から祝福されていると感じられる

親や養育者

- ・ 親同士の主体的な学びや活動の機会がある
- ・ 地域の情報にアクセスしやすい
- ・ 身近な相談場所がある
- ・ 社会から応援されていると実感できる
- ・ ライフスタイル選択ができる

事業主・企業

- ・ 産休・育休の保障と復帰後の支援を含めたダイバーシティ&インクルージョンの更なる展開
- ・ 多様な就業スタイルの保障
- ・ シニア世代のNPOや子育て支援就労促進

国・地方自治体

- ・ 第3期子ども・子育て支援事業計画の見直し（子ども・若者ヒアリング）
- ・ 事業実施状況の自治体別公表
- ・ 当事者が主体的に選択・参画できる
- ・ 情報提供・申請方法・支払方法等のDX化促進

4. 中高生、若者による保育・子育て体験の促進

中期的

●中高生よる乳幼児とのふれあい体験の実施

- ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解
- ・乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技術を身に付ける
- ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察

全国の地域子育て支援拠点、保育所等が実施に協力しているが、すべての中高生が具体的に体験ができるよう体制整備を進める。

●若者による保育・子育て支援のインターン（有償）・アルバイトの奨励

- ・すべての保育・子育て支援施設等が有償のインターンやアルバイトを受け入れることで、若者が乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技術、子ども理解、子どもがいる生活のイメージを身に付ける。
諸外国では学生によるベビーシッターが行われている。
- ・地域においては、一時預かり事業の補助、ファミリー・サポート・センター事業提供会員、訪問型の支援者として活躍できる可能性がある。

赤ちゃんとのかかわりを次世代へ

港北区地域子育て支援拠点

とろい とろい
サアライト



さまざまな体験機会の提供

- ◆小学生の総合学習
- ◆中学生の職業体験、赤ちゃんとのふれあい体験授業
- ◆高校生の家庭科授業、単位制ボランティア
- ◆大学生のフィールドワーク、インターンシップ、サービスラーニング、実習等
- ◆保育・教育、看護・保健、医療などの実習生

(横浜市港北区) 中学生 乳幼児ふれあい体験授業

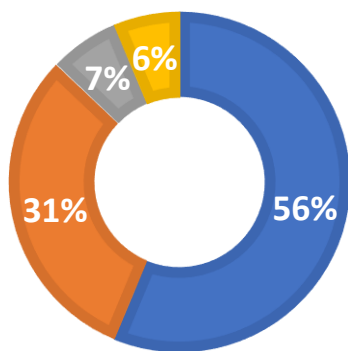
平成12年頃より、区内9校のうち4校の中学校が実施。

学校が主体となり、地域の民生員主任児童委員、地域子育て支援拠点、保育園等との連携、協力により開催。

中学生の気持ちの変化

事前

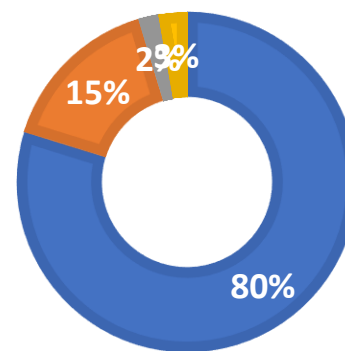
- とてもそう思う
- そう思う
- 思わない
- まったく思わない



Q.乳幼児は、かわいいと思いますか？

事後

- とてもそう思う
- そう思う
- 思わない
- まったく思わない



乳幼児保護者の気持ちの変化

中学生が素直で身近な存在として認識され、子どもの成長、未来が楽しみだ、との気持ちが語られた。

体験後、まちで中学生に声をかけられてうれしかったと、乳幼児保護者から話があった。

学習指導要領における「乳幼児とのふれあい体験授業」

平成29年度告示の学習指導要領、小学校家庭科、中学校技術・家庭（家庭分野）、高等学校 家庭基礎（平成30年度告知）等において、乳幼児とのふれ合い体験について、以下の内容を踏まえて取り扱いの解説が記載されています。

中学校の指導要領では、
幼児の生活と家族

- ・ 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること、幼児にとっての遊びの意義や幼児の関わり方について理解すること

高校の指導要領では、

- ・ 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技術を身に付けることや、子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察すること

5. 子どもの成育環境・子育て世代の居住支援

中期的

- 子育て世代の居住環境を整えた住宅の認定
- 住宅取得補助や、家賃補助の実施
- 公的補助のあるサポート付き子育て世代住宅の創設
- ひとり親家庭、経済的困難家庭への支援 ・ 保証人不要の入居制度 ・ 家賃減免 ・ 公的住居のさらなる優先入所 ・ サポート付きシェアハウス
- 公営住宅における子育て世代、新婚世帯への優先入居制度の拡充
- こどもの成育環境を育むまちづくり
日本学術会議「我が国の子どもの成育環境の改善にむけて－成育空間の課題と提言2020－」

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t297-5.pdf>

「住宅」「住環境」「道」「公園・広場」「生活圏でのケア」を提言

参考

認定NPO法人びーのびーの事業概要

●地域子育て支援拠点事業(3ヶ所) 横浜市補助事業、委託事業

おやこの広場びーのびーの
港北区地域子育て支援拠点どろっぴ
港北区地域子育て支援拠点どろっぴサテライト



港北区地域子育て支援拠点

どろっぴ どろっぴ
サテライト

- ファミリー・サポート・センター事業(どろっぴ内)
- 利用者支援事業基本型(どろっぴ、サテライト内)
- 一時預かり事業(どろっぴ、サテライト内)

●横浜市認可保育所 ちいさなたね保育園(60人定員) 2020年4月より、小規模保育から認可保育所へ



●地域福祉交流スペースCOCOLしのはら

2017年より、介護予防・日常生活支援サービス補助事業通所型



●産前産後ヘルパー派遣事業

2019年より、横浜市委託事業

●子育て支援スペースCOCOひよし

2020年8月オープン 自主事業



地域とのつながりによる「みんなで子育て」の実現をめざして

子育て家庭が主役

私たちは、子どもと保護者の最大の理解者として、子育て家庭が主役として主体的に子育てに取り組めるよう応援します。



社会により良い変化を

地域とのつながりづくりや暮らしやすい地域づくりに必要なシステムについて提言し、自らも実践、社会に良い変化を促します。

子どもが真ん中の地域づくり

子どもを真ん中に、子育て家庭を応援したい全ての人たちとともに連携・協働しながら、地域の一員として地域づくりに参画します。

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会



講座のプログラム開発・全国規模・
市町村単位での研修

地域子育て支援拠点研修
基礎研修・応用研修・中堅者研修
予防型プログラム研修
ひろばコンサルテーション
テーマ別交流会・ブロック別交流会
地域子育て支援士二種・一種養成講座
子育て支援コーディネーター養成講座
利用者支援スキルアップ講座
リーダーシップ研修
オンライン子育て支援入門講座
子育てひろば総合補償制度(ひろば保険)

会員総数:1430会員

(2023年2月15日付)

団体会員: 1280

個人会員: 150

